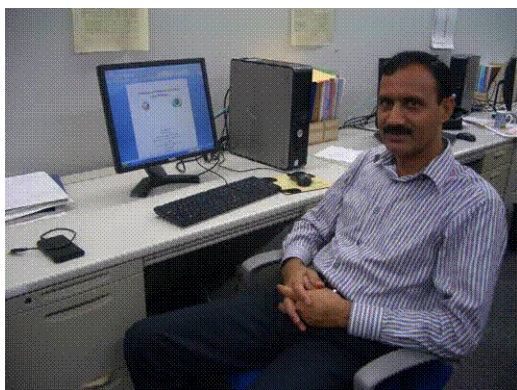


シャヒッド・フセイン・マリク 研究員 (パキスタン)



私はシャヒッド・フセイン・マリクと申します。パキスタンのアザド・ジャム・カシミール (AJK) 州災害管理局で事務局長として勤務しています。

州災害管理局は 2005 年に発生したパキスタン地震を契機に設立されました。2005 年の地震は、パキスタン北部の 9 地域を破壊し、AJK の州都であるムザファラバードは瓦礫と化しました。7 万 5 千名以上の命が奪われ、更に多くの人々が負傷しました。また約 70%の公共および民間のイン

フラ設備が破壊されました。20 万以上もの家族が家屋を失い、約 11 万 6 千名もの人々が避難民となり、225 の避難民キャンプが設置されました。これらのキャンプ

は避難所管理機関 (CMO) により管理されており、私は CMO のコミッショナーを務め、食糧、避難所、電気、教育、健康、水と衛生といったキャンプ内で必要な生命に関わる支援が行き渡るよう努めました。この救援・復興活動は、成功例の一つとして評価されており、全ての避難民が元の土地に帰還し、生活再建を行うことができました。

しかしここで話は終わりません。AJK は災害が発生する確率の高い地域であり、それ故に災害やリスク軽減に関する知識向上が必要となります。この地域の地震環境やこの国への脅威を鑑みれば、災害からの回復力のある社会構築が必要といえます。2005 年の地震以前は、パキスタンには災害管理を担う中心となる部局がありませんでした。そのためこのような空白を埋めるべく、州災害管理局は設立されました。

私たちは防災を開発政策の中に組み込む重要性について学ぶ必要があります。ADRC は、メンバー国内での災害からの回復力を構築するために、制度や能力の強化を図っており、上記の目標へ向かって大いに導いてくれるものです。この ADRC 客員研究員プログラムは、メンバー国からの研究員に必要な技術や知識を与え、リスク削減や防災について学び、リスク削減を自国の政策の中に組み込むための機会を与えてくれる大変貴重なものであると思います。